



城南家保ニュース Vol. 17-3

熊本県城南家畜保健衛生所 平成17年 6月 発行

TEL: 0966-22-3814 FAX: 0966-22-3617

口蹄疫の侵入を防ぎましょう！

中国において世界で最も恐れられている家畜の伝染病「口蹄疫^{*1}」が発生しました。今後、発生が拡大することも考えられます。

*1: 「口蹄疫」は、牛・豚・めん山羊など偶蹄類（蹄が二つある動物）のみに感染する極めて伝染力の強いウイルスによる病気で、日本では海外悪性伝染病に指定されています。

1 発生状況

- 5月15日 中国政府が国際獣疫事務局（OIE）に
山東省、江蘇省で口蹄疫が発生したことを報告
- 5月27日 北京市周辺及び中央アジア方面において口蹄疫
（アジア1型）の続発が確認

2 主な症状

- ① 著しい流涎（よだれ）を示したり、体重や乳量の減少が認められることがあります
- ② 舌、唇、歯ぐき、ツメの間および乳房などに水胞（みずぶくれ）ができます
- ③ その水胞は、数日で破れ、ただれたようになります

<牛の唇にできた水胞（水ぶくれ）>



<豚の蹄（ひづめ）>



- ④ 通常、死亡率は5%程度ですが、幼若な家畜では50%に至ることもあります
- ⑤ ただれた部分は、痛みを伴うため、採食不能や起立不能となり廃用又は死亡の原因となり経済的被害が甚大となります

3 感染経路

口蹄疫ウイルスに感染した家畜との接触、汚染された肉、ハム、ソーセージ、飼料（稲わら）、敷料などすべてのものが感染源となります

4 侵入防止対策

- ① 中国産稲ワラ等の輸入一時停止
- ② 中国産（偶蹄類由来）畜産物に対する加熱処理条件の義務付け
- ③ 海空港における靴底の消毒徹底

5 注意事項

- ① 家畜の状態を毎日、よく観察してください
- ② 農場、畜舎への出入り時は、車両、長靴、作業服などの消毒を十分行ってください
- ③ 残飯を給与する場合は、十分加熱して給与してください
- ④ 発生地域の農場視察旅行などは極力、避けてください
- ⑤ 輸入の稲わら、乾草などの使用は、可能な限り避け、異物等の混入が認められたら使用をすぐ止めて、家畜保健衛生所まで連絡してください

口蹄疫を疑うような異常家畜を発見した場合は、

診療獣医師、家畜保健衛生所に直ちに連絡してください！